

学校法人福原学園 耐震化率について (2019年9月1日現在)

耐震化率 91%

日本私立学校振興・共済事業団の「私立学校校舎等実態調査」に基づき、下記計算方法で算出しております。

(分母)「実態調査」対象施設の延床面積の合計①

125,921 m²

※現在、解体中である3施設を除く。

(分子) aまたはbに該当する建物の延床面積の合計

114,656 m² (a+b)

a (新耐震基準②)

新築年月日が、1981年(昭和56年)6月1日以降の建物

91,227 m²

b (旧耐震基準③)

新築年月日が1981年(昭和56年)5月31日以前の建物のうち、耐震診断実施済で、耐震性能を有しているあるいは耐震補強済み
(2019年4月1日現在、補強工事中を含む)の建物

23,429 m²

$114,656\text{m}^2 \div 125,921\text{m}^2 = \underline{91\%}$

※耐震化未実施の9%については、2020年3月31日をもって建物を閉鎖し、その後解体する予定となっています。

学校名	延床面積①	新耐震基準②	旧耐震基準		耐震化率
			補強済・適合③	診断未実施	
九州共立大学	66,495 m ²	50,367 m ²	16,128 m ²	0 m ²	100%
九州女子大学・九州女子短期大学	59,426 m ²	40,860 m ²	7,301 m ²	0 m ²	81%
法人計	125,921 m ²	91,227 m ²	23,429 m ²	0 m ²	91%

※旧耐震基準とは、建築物の設計において適用される地震に耐えることのできる構造の基準で、1981（昭和56）年5月31日までの建築確認において適用されていた基準をいい、新耐震基準とは、1981（昭和56）年6月1日以降の建築確認において適用されている基準をいう。

※取り壊し予定など、調査時点において使用していない建物及び教職員が日常的に使用していない建物は調査対象から除く。